

日本共産党

姫路市会議員団

市会報告 2022年 第2回定例会

議員団控室 姫路市安田4-1 TEL221-2046 FAX284-5890
メール info@jcp-himeji.com



谷川まゆみ



森ゆき子



苦瓜かずしげ



村原もりやす



谷川まゆみ議員

6月議会の質問から

子どもたちの人権が保障される学校に

今こそ核兵器のない世界を

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まっていますが、いまだに収束する見通しがありません。プーチン大統領が核兵器使用の威嚇に出ていることも、世界に衝撃を与えています。日本は、世界で唯一の戦争被爆国です。

先般のバイデン米大統領訪日の際には、日米同盟の抑止力・対処力強化で一致し、岸田首相は軍事費の増額確保を表明しました。大軍拡は、軍事対軍事のエスカレーションを招くだけです。

今、日本が進むべき針路は、核抑止の呪縛から抜け出し、核兵器禁止条約に参加することです。その認識について、答弁を求めます。

答弁：核兵器使用のリスクが懸念され、憂慮すべき状況。本市として、政府の動向を注視しながら、全国で唯一の民間人空爆犠牲者追悼の慰霊塔を有する非核平和のまちとして、ポスター展などによる啓発を通じて、核兵器の全面撤廃と軍縮を訴えていく。

新たな姫路市男女共同参画プランの策定に当たってはジェンダー視点を

今年度は、新たなプラン策定の年となっています。それに先立ち昨年2月に、「男女共同参画に関する市民意識調査」と「男女共同参画に関する職員意識調査」を行なっています。また、本年3月には、「新たな姫路市男女共同参画プランの策定に当たっての基本的事項について」の答申書が市長に提出されています。

ジェンダー平等社会を築く上で最も重要なことは、男女の賃金格差の是正であり、平等です。答申書においても、女性の就業状況について詳しく分析しています。自治体としても男女の賃金格差是正の取組について、新たなプランに反映させることを求めます。

答弁：新たなプランの基本目標である女性の活躍の推進やワーク・ライフ・バランスの推進の中で、労働条件や職場環境の整備も含め、格差是正のための取組を新たなプランに盛り込んでいく。

ジェンダー視点からの制服の見直しを

現在、女子生徒がスラックスを選択できる中学校は6校、義務教育学校の後期3校となっています。また、現在制服について検討中が12校あります。そうした中で、全国的にも注目をされているのが、山陽中学校の取組です。男女とも上はブレザーで、下は原則スラックスとし、スカートを選択制にしているところに特色があります。

現在、制服について検討を行なっている学校に対して、山陽中学校の先進的取組について情報共有をしっかりと図る必要があります。そのための支援を教育委員会として行うべきではありませんか。

答弁：山陽中学校の制服見直しの取組については、経緯や手順、留意点を教育委員会でまとめ、全ての中学校に情報提供を行う。取組がジェンダー視点を踏まえたものとなるよう、校長との認識を共有していきたい。

権利としての生活保護を

「生活保護のしおり」について

厚労省のホームページでは、「生活保護の申請は国民の権利です。生活保護を必要とする可能性はどなたにもあるものですから、ためらわずにご相談ください。」とあります。また、昨年2月には、「扶養義務者履行が期待できない者の判断基準の留意点等について」の事務連絡を発出し、一律には扶養照会を求めない旨を通知しています。

厚労省は、コロナ禍で生活保護を申請する人が増加するに当たり、申請権の侵害の防止、速やかな保護決定等、弾力的運営を求めてきました。本市の「生活保護のしおり」は、これらの厚労省通知等が活かされた内容・説明になっているのが答弁を求めます。

答弁：厚生労働省からの事務連絡やその他の資料を参考に、ホームページも含め、適宜、内容の見直しを行なっていく。

担当委員会が変わります 力あわせてがんばります

谷川まゆみ議員

森ゆき子議員

苦瓜かずしげ議員

村原もりやす議員

厚生委員会

経済・観光委員会

文教・子育て委員会

総務委員会副委員長

議会運営委員会

くれさか環境事務組合議会議員

